



## 高志台

# 学園だより

### 高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。

## CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台 (卒業生)	05-09
さよなら高志台 (専攻科修了生)	10-11
さよなら高志台 (留学生)	12-15
さよなら高志台 (退職する教職員)	16
1年を振り返って	17
卒業生・修了生表彰・進路状況	18



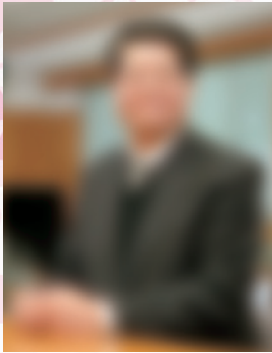
独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

# 卒業生・修了生に贈る言葉



## 人間万事塞翁が馬

校長 小林 幸夫

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。

保護者の皆様のお慶びもひとしおのことと存じます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

げます。

卒業生、修了生の皆さんは、新型コロナウイルスの影響で、思うような学校生活が送れなかったかもしれません。遠隔授業も何回か経験することになりました。それでも皆さんは、入学時に比較して心身ともにたくましく成長されました。厳しいカリキュラムをこなし、身につけた知識・技術はこれからの人生において大きく役に立つことでありましょう。

今、日本ではイノベーションを引き起こせる人材が求められています。皆さんは、この長岡高専で、イノベーションを引き起こすための基礎を学び、卒業研究や特別研究で、新たな知見を得るための考え方を修得したと思います。是非これらの力を実社会で思う存分発揮して下さい。

私たちの社会は、これまで経験のないほどの大きな時代の変化の中にあります。特に、情報技術の急激な進歩は目を見張るものがあります。生成AIに代表される高度な情報技術が私たちの生活の隅々まで浸透し、これまでにない新たな価値観を生み出し、新しい社会制度や生活様式が築かれようとしています。我々が経験する変化は、これまでの延長線上にはない劇的な変化です。その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことがない特殊な能力では決してありません。むしろ、どのような時代を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力をベースとした、創造的能力や人間性が問われることとなります。さらに、時代の変化に対応し、自分自身も変化するという柔軟な思考も大切です。

このような厳しい社会環境に長岡高専を旅立つ、卒業生及び修了生に、臚（はなむけ）として、皆さんに私の大好きな中国のことわざをお伝えしたいと思います。それは、『人間万事塞翁が馬』、略して『塞翁が馬』です。

よく聞く言葉ですので、すでに知っている人も多いかと思いますが、再度確認していただければと思います。

『塞翁が馬』の“塞”というのは“お城”です。“翁”というのは、“おきな、おじいさん”ですね。中国のお城の近くの村に、おじいさんがいたらしいです。そのおじいさんの唯一の財産は、一頭の馬。そして、ひとり息子さんと住んでおられたそうです。

ところがある日、その唯一の財産の馬が逃げてしまいました。すぐ村人たちが集まってきて、おじいさんを「大変ですね」と慰めました。でも、おじいさんは冷静に「いやいや、これは何かいいことの始まりかもしれない」と言いました。

すると、2、3日してその馬が帰ってきて、しかも、その馬よりもさらにいい名馬と一緒に連れてきました。

村人はまたすぐ集まってきて、「いや、おじいさん素晴らしい。よかったですね」と言いました。でも、おじいさんは「いやいや、これは何か悪いことの始まりかもしれない」と答えました。するとおじいさんの息子さんが、やって来た名馬に乗っていて落っこちてしまい、足を複雑骨折して歩けなくなってしまいました。また村人がやって来て、「おじいさん、えらい災難ですね」と言いました。しかし、おじいさんは「いやいや、これは何かいいことの前ぶれかもしれない」と答えました。

しばらくすると戦争が起こりました。村の若者は、ほとんど全員が死んでしまいました。でも、おじいさんのひとり息子は、足の怪我で歩けなかったので、戦争に行かず生き残りました。

そういう話らしいです。

村人のように一喜一憂するのではなくて、おじいさんのようにどっしり構えよう、そういう意味（のことわざ）だと思います。

これから社会に出られて、いろんなことがあると思います。皆さんそれぞれに『塞翁が馬』があると思います。だから人生は楽しい、とも言えると思います。でもそのときに、いいことばかりではなくて、一見大変なこともきつと起こると思います。

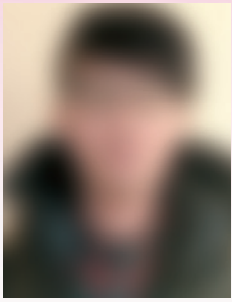
そのときはぜひ、この『塞翁が馬』ということわざを思い出していただいて、村人のように一喜一憂するのではなく、おじいさんのように、どっしりと構えていただきたい。

特に、一見よくないことが起こった、そのときこそ、「これはチャンスかもしれない」、そんなふうを考えてもらいたいと思います。また、たくさんの卒業生、同窓生、このつながりというのも、ものすごい力になります。

これからの長い長い人生、今まで皆さんが送られてきたよりも、はるかに長い人生が、皆さんの目の前に待っています。これからのご活躍を心よりお祈りしております。

最後に、人生で最も多感な時期に、長岡高専で共に勉強し、苦楽を共にした友は、一生の宝です。これからも連絡を取り合い、互いに協力し合い励まし合って、さらなる友情を培われることを期待します。たまには連れ合っって元気な顔を見せに学校を訪ねてきて下さい。

本日は、誠におめでとうございます。



## 幸多き人生に エールを

後援会長 大野 盛郷

本科卒業生並びに専攻科修了生の皆様におかれましては、このたびのご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。長年にわたり温

かく見守り、支えてこられた保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。また、学生の育成にご尽力いただきました学校関係者の皆様に対し、長岡工業高等専門学校後援会を代表して深甚なる感謝の意を表します。

さて、皆様は本校における特色ある教育のもと、創意工夫を重ねながら多くの経験を積み、時に失敗や挫折、別れをも乗り越え、“自らの力で未来を切り開く”ための人間力と思考力を培ってこられました。これらは、皆様が今後歩まれる人生において、かけがえのない有形無形の財産となることでしょう。

これから進まれるそれぞれの道では、個人として、また我が国全体として抱える多様な課題や困難に直面する場面もあるかと思えます。しかしながら、皆様がこれまでに培われた実践力、創造力、さらにはAIをはじめとする先端技術を活用する力をもってすれば、必ずやそれらに真正面から向き合い、解決へと導く重要な役割を担っていかれる

ものと確信しております。不確実性が高まる現代社会において、柔軟かつ多様性に富んだ発想と行動が、地域や社会に新たな価値をもたらすことを心より期待しております。

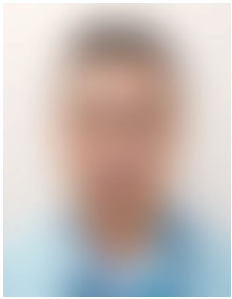
また、皆様が学びを通じて得た気づきや成長は、決して自身の努力のみで成し得たものではなく、周囲の支えがあってこそ育まれたものであることを、どうか忘れないでください。その感謝の念を胸に、これからも果敢に挑戦を続けていただきたいと願っております。

そして、時に傷つき、喜び、涙し、心から笑い合える瞬間を重ねたのちには、ぜひ再びこの高志台の学び舎を訪れてみてください。校舎もグラウンドも、そして恩師の皆様も、変わらぬ姿で皆様を温かく迎え入れてくれることでしよう。

皆様のこれからの人生が、希望と幸運に満ちあふれたものとなりますよう、心より祈念いたします。

卒業生・修了生の皆様の前途に、限りない祝福がありますように。

BEST WISHES TO EVERYONE, GOOD LUCK!!



## いつまでもダサくて尖った 高専生であれ

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

長きにわたり、学生達を支えてきてくださった先生方や保護者の皆さん、ありがとうございました。感謝申し上げます。

これから皆さんが飛び込もうとしている社会は、今大きく変化しています。原稿を書いている時点では、国内は衆議院解散、新党結成と騒がれていますし、海外はロシアのプーチン大統領やアメリカのトランプ大統領などの大国首脳への振る舞いに、世界的な不安を感じざるを得ない状況であります。

昨年来、新聞で高専関連の記事を読み漁っています。最近では、加賀田組さんと長岡高専が共同開発した道路用コーンを持ちやすくする工具の開発の紹介記事がありました。

その他、昨年も紹介しましたが福島第一原子力発電所の廃炉作業を想定した「廃炉創造ロボコン」は第10回目を迎え、今回は海外からマレーシア工科大学とタイ高専の参加があり、その中から唯一タイ高専が全ての課題をクリアし、最優秀賞である「文部科学大臣賞」を受賞しました。

また、同窓会報でも紹介しましたが、高専生に金融機関が熱視線を送っているという話や初任給を大学院・四年制大学卒と同水準にする企業が増えていることなど、多くの情報を得ました。

その中で、興味を引くものがありました。

それは、「高専生はズレて尖ってダサくあれ」というある高専の先輩からのエールです。

「高専生は、大学進学のための高校受験ではなく、エンジニアを育てる高専を選んだ。大学進学を選ぶ若者とは違う道を選んだ高専生の個性をもっと尖らせていい。」と。

「そもそも世間一般との『ズレ』こそが、高専生にとっての強みだ。」とも言っています。

私もその通りだと思います。

息子が長岡高専本科・専攻科在学時、私は5年間後援会長を務めていました。その時の卒業祝賀パーティーでの挨拶時、毎年同じことを言っていました。それは、「高専生には独特のにおいがする。自分の会社に入社してきた人中で、高専卒は大体わかる。」ということでした。

個性の強さが表れる、それが高専生らしさ。先輩のエールに通じるものがあると思います。

皆さんも是非、高専生らしさを失わずに社会に羽ばたいてほしいと思います。

我が長岡高専は、今後も世界で活躍する人材を輩出することでしょう。皆さんの今後の活躍を期待しています。そして、応援しています。

# さよなら高志台 思い出のアルバム

2021-2025



2021.4.5 入学式

## 2021

- 1月 アメリカ大統領にバイデン氏が就任  
1都3県に緊急事態宣言  
(新型コロナウイルス感染症)
- 2月 新型コロナワクチン接種開始
- 4月 原発処理水、海洋放出を決定
- 7月 東京オリンピック開幕
- 8月 東京パラリンピック開幕、新型コ  
ロナ変異株(「デルタ株」)が猛威
- 9月 自民党総裁に岸田氏、首相に就任
- 10月 真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞
- 11月 大谷翔平、満票でメジャーMVPに



2021.4 1学年ガイダンス



2021.5.14 寮新入生歓迎球技大会

## 2022

- 1月 新型コロナウイルス感染症オ  
ミクロン株が猛威
- 2月 ロシアがウクライナ侵攻  
北京五輪、日本勢のメダル冬季最多
- 4月 知床観光船沈没事故
- 7月 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
- 10月 一時1ドル150円台 32年ぶ  
りの円安水準に  
ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王
- 11月 サッカー・カタールW杯が開幕  
日本はドイツ・スペインに逆転



2022.5.17 文化競技会



2023.1.11~1.13 スキ合宿研修

## 2023

- 2月 トルコ・シリアで大地震
- 3月 WBC侍ジャパン、14年ぶり世界一
- 4月 フィンランドがNATO正式加盟
- 5月 新型コロナウイルス感染症  
「5類」移行  
生成AI急速に普及し、政府  
が「AI戦略会議」で政策の  
方向性の議論を開始
- 広島でG7サミット開催



2023.9.25 地域企業見学会



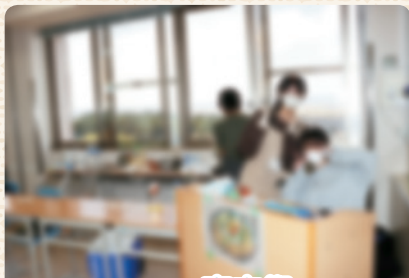
2024.9.24~9.27 見学旅行①

## 2024

- 8月 福島第1 原発の処理水、海  
洋放出開始  
ハワイ州マウイ島で大規模な山火事
- 9月 記録的猛暑、気象庁の観測史  
上、夏の平均気温が最高を更新
- 10月 藤井聡太竜王史上初の全八冠制覇  
ハマスがイスラエルに大規模  
攻撃、イスラエルが報復
- 12月 大谷翔平2度目のMVP、10年7億  
ドルの大型契約でドジャース移籍



2024.9.24~9.27 見学旅行②



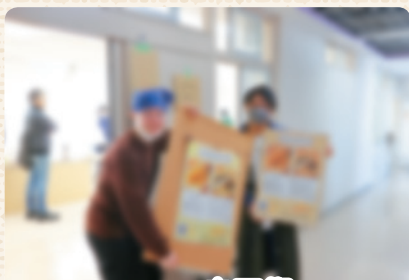
2024.11.1~11.3 高志祭

## 2025

- 1月 石川・能登で震度7、津波被害  
日航機と海保機が羽田で衝突、炎上
- 2月 JAXA、H3ロケット打ち上げ成功  
スウェーデンのNATO加盟決定、  
32か国目
- 7月 20年ぶり、新紙幣流通開始
- 8月 パリ五輪で日本は海外最多メダル45個
- 10月 日本被団協、ノーベル平和賞を受賞
- 11月 米大統領選、4年ぶりトランプ氏が勝利
- 12月 韓国大統領「非常戒厳」を宣言、韓  
国国会は尹大統領の弾劾案可決



2025.5.14 交千祭



2025.11.1~11.2 未正祭

- 1月 米ロサンゼルスで山火事発生、24日続く
- 4月 大阪・関西万博が開幕
- 5月 教皇選出会議(コンクラーベ)でプレ  
ポスト枢機卿を新ローマ教皇に選出  
コメ高騰 備蓄米20万トン放出
- 10月 坂口志文氏にノーベル生理学・医  
学賞、北川進氏にノーベル化学賞  
高市内閣が発足=第104代、初  
の女性首相  
街にクマ被害相次ぐ「緊急銃猟」開始
- 11月 大谷、山本、佐々木が活躍  
ドジャースWシリーズ連覇



2026.2.2~2.3 卒業研究発表会



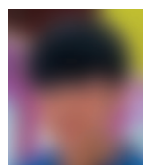
## 夢と仲間に支えられた5年間 関 琉弥

私は、テーマパークで働くという夢をかなえるために高専に入学しました。高専は就職率も高く、夢の実現に向けて最適な環境でした。

5年間の授業は厳しく、卒業が危ういのではないかと感じることもありましたが、「必ず夢をかなえる」という強い思いを胸に、最後まで努力を続けることができました。その結果、就職活動もやり抜くことができ、この春から、長年の夢であったテーマパークで働きます。

高専生活では、夢の実現だけでなく、かけがえのない仲間を得ることもできました。困難な授業やテストでは、お互いに教え合い、協力しながら、共に乗り越えてきました。また、クラス活動や部活動を通して、一つの目標に向かって仲間と力を合わせることで、深い友情を育むことができました。

このように、長いようで短かった5年間の高専生活を通して、夢を実現し、多くの大切な出会いに恵まれました。ここまでご指導くださった機械科の先生方に、心より感謝申し上げます。また、困難なときも変わらず支え続けてくれた家族、共に学んできた機械科の仲間たちにも、感謝の気持ちでいっぱいです。



## 基準が上がった5年間 篠澤 福之介

私の高専生活を一言で表すと、「無意識のうちに基準が上がっていく5年間」でした。

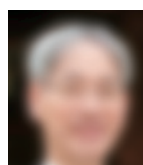
周囲には常に自分より優秀な友達がいる、その存在から多くの刺激を受けながら、置いていかれないよう努力する日々を送ってきました。その環境の中で自分を律し、できることを一つ一つ積み重ねていくうちに、以前は難しいと感じていたことが、いつの間にか当たり前にならざるを得ない状態に気づきました。そのように日々の中で積み重ねてきた成長が、はっきりと形になって表れたのが、卒業研究でした。授業や実験で得た知識が研究内容と結びつき、応用できたことで、これまでの5年間の学びが確かに活かしていると実感しました。

ここまで成長できたのは、熱心にご指導くださった先生方、そして互いに高め合ってきた友達の支えがあったからです。本当にありがとうございました。そして、専攻科でもあと2年間お世話になります。



## さあ巣立ちのときだ、起きろー！ 3～5学年クラス担任 山岸 真幸

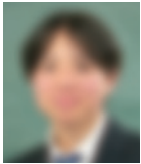
今では新型コロナウイルスも、インフルエンザ並みに扱われるようになりましたが、皆さんが入学した頃は若年層の感染が広まり、本校でも学級閉鎖や休校が行われるようになり、様々な制限や特別な対応の毎日だったでしょう。しかし私にとっては、コロナよりむしろ平時の出席状況の方が心配でした。毎朝寮に足を運ぶ、午後の出欠を確認することが日課になりました。3学年からは進路について意識を向ける時期になることから、過去のクラス同様、機会をとらえて説くとともに、その機会を設けることに腐心してきました。反応は千差万別、実に様々で驚く毎日。オウngoールを決められた時の様な気分がさせられたこと度々。これから向かう新たな道は険しいですよ。まだまだ心配が付きませんが、クラスマッチで優勝し、胴上げしてもらったことは忘れません。どうか人のことを思いやり貢献できる人間として、長岡高専を巣立ってください。卒業おめでとう。



## 紙飛行機に乗せた夢 1学年クラス担任 青柳 成俊

ご卒業おめでとうございます。長岡高専機械工学科卒業生としての今後の活躍を期待しています。2021年4月の学科オリエンテーションで初めて顔を合わせました。当学科らしく、機械工場をホールに見立てて集まり、学科長講話と専攻科生の訓話、その後ひとりひとりに自己紹介をしてもらったと記憶しています。機械設計、航空宇宙、高速鉄道車両や自動車などの言葉はほとんどなく、ゲーミングの分野に代表される仮想空間の進み方と出現するキャラクターの紹介が続きました。機械工学もインフォマティクスと融合し、かつ教育方法も再考する時が来たようだと感じた瞬間でした。学ぶ動機は興味関心の対象と程度に依存し、社会の時流が支配することもあるように思います。それでも「5年間で何を目標とするのか、将来をどうしたいのか」を書いてから紙飛行機に折ってもらいました。工場を抜けて、3号館1階アトリウムで飛ばした紙飛行機の夢の一部は実現したでしょうか。すべてが実現するように日々少しずつ前進してくれたらと思います。応援しています。





## ここから、ここから！

石川 幸太郎

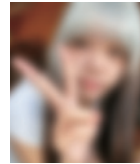
高専生活を振り返ると、本当にたくさんの大切な出会いがありました！

1つ目は、5年間続けたプレラボ活動です。顧問である技術職員の込山さんには色々な経験をさせてもらい、活動を通して多くの繋がりができました。入学当初、中学から環境ガラッと変わり、クラスに馴染めず不安だった私にとって、プレラボは自分を肯定できる「大切な居場所」でした。

2つ目は、最高の友人たちです。一緒にご飯を食べて、花火を見て、出店を企画したり、くだらない話で笑い合ったり。高専という新しい環境に身を置いたからこそ、それまで当たり前だと思っていた関係の尊さを改めて実感できました。個性が強くて尊敬できる仲間と囲まれた毎日は、何物にも代えがたい宝物です！

先生に怒られたことも、勉強で苦労したことも、今では自分を成長させてくれた大切な経験です。高専生活のすべてが、私の5年間を色濃くしてくれました。

最後になりますが、私を支えてくれた友人、家族、先生、そして先輩後輩の皆様。5年間、本当にありがとうございました！



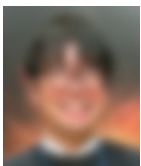
## 幸せ者

渡邊 莉子

義務教育が終わり、はじめて自分で選んだ道は自分と似たような人たちとの集団生活でした。皆様には圧倒的に過ごしやすい生活をありがとうございましたと言いたいです。この生活は、これから生きていくには良い影響も悪い影響もあったと思いますが、そのふたつは切り離せるものではなく、表裏一体となってこれからも私を支えてくれると思います。

そして私と関わってくれた方、向き合ってくくださった先生方には感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。行動力のない私ですが、たくさんの素敵な出会いがあって幸せです。本当に皆さんと関わって私は幸せ者だなと思います。幸せをありがとうございます。たくさんの初めてと感動がそこにはありました。

また、見えないところでたくさんの支えと気遣いがあったと思います。長岡高専のすべての出来事とすべての人に敬意をもち、卒業します。本当にありがとうございました。



## またね

3～5学年クラス担任 和久井 直樹

卒業おめでとう。3年間あっという間でしたね。OneNoteにメモした1人1人との面談記録を見返しながら、みんなの成長をしみじみと感じています。赤点がいくつもあって焦ったこと、レポートに苦労してたこと、教室を綺麗に掃除してくれたこと、コンテストに参加したこと、インターンシップで刺激を受けたこと、演劇を頑張ってたこと、進学か就職で悩んだこと、夜遅くまで研究に取り組んでいたこと。書ききれないほどの出来事がありましたね。それぞれが自分なりに成長していく姿を、伴走者として近くで見ることができて本当に楽しかったです。次はそれぞれの進路で自分の人生を切り拓いていってください。疲れたら休めばいいし、間違えたと思えば来た道を戻ればいい。迷ったら誰かに相談しよう。みんなならできるよ！大丈夫！自信持って！たまには長岡高専に遊びに来て、近況を聞かせてね。またね！



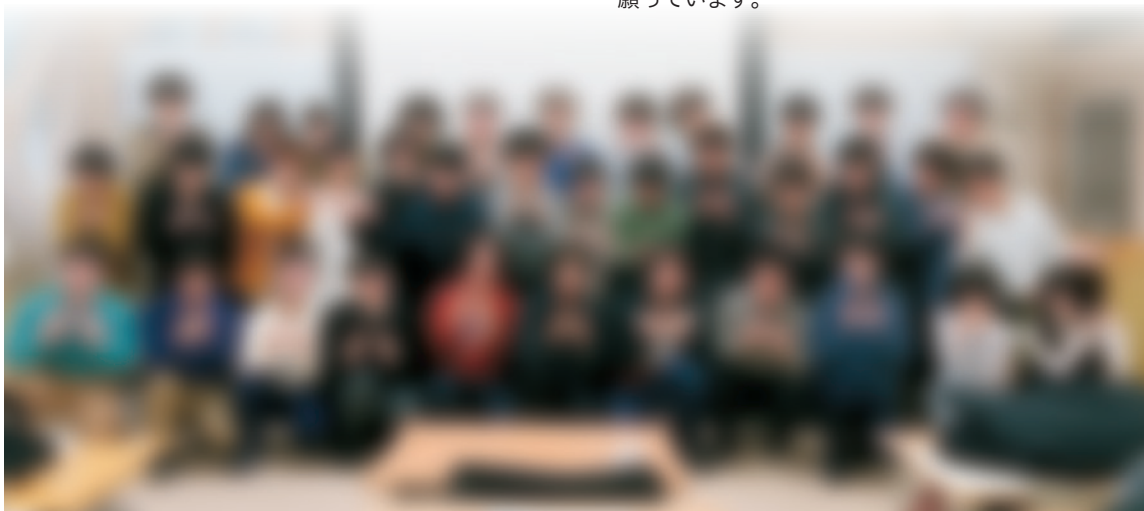
## ご卒業おめでとうございます。

2学年クラス担任 富樫 瑠美

「電気科2年の担任になりました富樫です。よろしくお願ひします。」とみなさまにご挨拶してから、もうあっという間に時が過ぎましたね。あまりにも時が過ぎるのが早すぎて驚いています。1年間という短い期間でしたが、みなさんには沢山助けをいただき、また沢山勉強させていただきました。一緒に物理の授業を受けて単位を取ったのもいい思い出です。本当に色々ありがとうございました。

この5年間、きっと色々大変な目があったことでしょう。思い通りにいかなかったことも沢山あったでしょう。しかし、意外と大人になってから自分を助けてくれるのは、そのような大変な目があった経験のように私は感じています。必ず、苦労した経験は思いがけないところでみなさんを助けてくれます。苦労する必要のないことを無理にする必要はありませんが、困難にも一度トライしてみる気持ちを持ち続けてください。

みなさんがこれから幸せな人生を送れますよう、心から願っています。



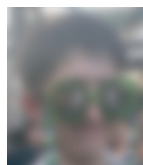


**成長**  
松永 翠

登下校のバスの中で、いつの間にか周囲に年下の学生しか見当たらなくなりました。その光景から、自分が上級生になり、卒業が近づいていることを実感しました。入学当初は専門知識がほとんどなく、授業についていくことで精いっぱいでしたが、学びを重ねるうちに少しずつ理解が深まり、自分の成長を感じるようになりました。

その中で、学科の先生方から何う想像をはるかに超える経験や実績に触れたことが印象に残っています。それはどれも刺激的で、自分にはまだ遠い世界だと感じながらも、いつかはその背中を追い越せる存在になりたいという目標を持つきっかけになりました。

最後になりますが、この5年間指導をしてくださった先生方、共に過ごしたクラスメイト、家族に心から感謝しています。そして、毎日おいしい食事を用意してくださった食堂の皆さんや、校内をきれいに保ってくださった清掃の方のおかげで、安心して学生生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

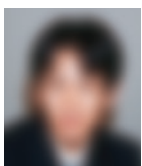


**マスク越しの初対面から**  
熊倉 喜樹

美松のシュークリームに並びながらこの文を執筆しています。新しくできた東横のあたりから並んでいますが、列が全く進みません。

さて、この5年間を振り返ると、本当に色々なことがありました。入学当初は初対面がマスクから始まり、互いの素顔を知らぬまま時間が過ぎました。コロナ禍で強行されたスキー合宿では、1つの部屋でクラスターが起き、仲良く寝込んだのも今では笑い話です。そして4年の修学旅行。修学と旅行の比率を絶妙なバランスで実現させてくれた上村先生、本当にありがとうございました。最高の思い出です。

このような不自由かつ自由な学校生活を支えてくださった寮事務員の皆様、教職員の方々に深く感謝します。そして何より、長いようで短い時間を共に過ごし、毎日退屈させないでくれた友人、先輩、後輩たち、本当にありがとうございました。卒業しても、また沢山飲みに行きましょう。



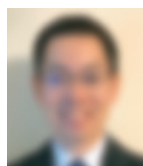
**変化と成長と現実と**  
3～5学年クラス担任 上村 健二

卒業おめでとうございます。振り返れば、コロナ禍により制約の多い学校生活となりましたが、皆さんは環境のせいにすることなく、学業や行事、進路選択に真剣に向き合ってきました。

担任として十分な支えができなかったと感じる場面も少なくありません。それでも、課題に粘り強く取り組み、仲間と協力しながら一つ一つ乗り越えていく皆さんの姿に、確かな成長を感じていました。自分では変化を実感しにくいかもしれませんが、困難な状況でも歩みを止めなかった経験は、これからの人生で必ず支えになります。

理想通りにいかない現実と直面しても、考え続け、前へ進もうとする姿勢こそが、未来を切り開く力です。高志台で培った学びと志を胸に、新たな場所でそれぞれの「変化」を生み出していくことを、担任として心から願っています。

写真は皆さんと同世代だった頃の担任です。「変化」を感じてください。内容に違和感を覚えた学生さん、真相が気になる学生さんは、ぜひお話ししましょう。来訪をお待ちしています。



**次の一歩に向けて**  
2学年クラス担任 小川 秀

ご卒業おめでとうございます。Ec2を担当した令和4年度は新型コロナウイルスの影響で不安定な生活が続いていました。メインイベントのスキー研修には担任が病欠し、仲良しの皆さんは研修後学級閉鎖となりました。クラスはリーダーシップをとる学生にアイデアを出しつつ協力する集団でした。卒業を迎え、「本当に良かった」と喜ぶのは私だけではなく、何より卒業証書を手にした卒業生の皆さん自身でしょう。それぞれの入学後の足跡を振り返ってみてください。暑さ寒さに負けずに登校した事、努力が思う結果に繋がらなかった事など、苦い経験も後の自分の大きな励みと成長になります。山あり谷あり、分岐ありの人生ですが、長岡高専で培った知性と感性をコンパスとして、焦らずに歩んでください。星野富弘さんの詩とともに皆さんの今後のご健康と一層のご活躍を願っています。

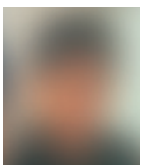
『のろくても いいじゃないか

新しい雪の上を歩くようなもの

ゆっくり歩けば 足跡がきれいに残る』

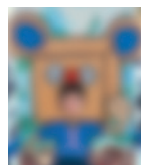
星野富弘 雪の道 より





## この5年間 鈴木 祐太

入試時期が早く、3年後の大学受験を回避できるという理由で入学した長岡高専。長い長いと思っていた5年間も、気づけばあっという間に過ぎ、卒業を迎えました。毎週のように行われる実験、インターンシップ、モンゴルでの海外研修、研究活動など、普通高校では決して得られない貴重な経験を重ねてきました。特に最終学年は、日々の授業・実験に加えて受験勉強、卒業研究が重なり、忙しさは桁違いでしたが、その分大きく成長できた一年だったと思います。進路については、高すぎる目標を掲げ、日々将来への不安を抱えながら過ごしていましたが、多くの人に支えられ、無事に合格をいただくことができました。「高専に入ってよかった」と胸を張って言えるよう、目標に向けて努力していきたいと思います。最後に、多くを教えてくださいました先生方、5年間を共にしたクラスメイト、そして常に支えてくれた家族に、心から感謝します。5年間、本当にお世話になりました。



## 継続は力なり 矢代 魁生

中学校の頃は、マグネシウムの発光や水素爆発など派手な化学反応が好きだったため、高専に進学しました。正直、慣れない環境で学校生活を送れるのか、また周りに遅れてしまうのではないかと不安でしたが、学校の仲間と過ごした5年間は、とても刺激的で、かけがえのない思い出になりました。

高専生活でも印象に残っているのは、柔道部での活動です。幼少期から柔道を習っていたため、入学と同時に入部しましたが、試合では緊張から思うような結果を出せず、悔しい思いを重ねてきました。そこで自分を変えたいと考え、日々の練習に加えて、練習会や宿舎にも積極的に参加しました。その中で、緊張を受け入れ、力に変える意識を持つようになり、以前より落ち着いて試合に臨み、自分の力を発揮できるようになりました。「継続は力なり」という言葉がありますが、まさにこの経験を通して、その意味を実感しました。

このような経験ができたのも、学校の先生方や仲間の支えがあったからです。少しぶっ飛んだ、忘れられない5年間をありがとうございました。



## 不断努力

3～5学年クラス担任 熱海 良輔

5年生諸君、卒業おめでとう。これまでの勉学への取り組みが結実し、ようやく諸君が卒業の日を迎えられることを嬉しく思います。卒業研究発表会の冒頭、私は「今日は結果が大切です。結果を求めます」と言いました。驚嘆すべき科学技術の発見や発展を求めるという意味ではありませんでした。5年間の取り組みに対して、自分なりに答えを出す、ということです。人生は選択の連続であり、その選択に対して自分の答えを出し続けることが重要です。これからの諸君の人生において、我々教員は隣で指導することはできませんが、心配はしていません。皆さんが答えを出す姿を、担任としてしっかり見届けることができたからです。

さて、本校で学んできたことは、社会に出て何の役にも立たないことでしょうか。意味がないからではなく、まだ通用しないからです。これからも学びの姿勢を忘れることなく研鑽し、世界や地域社会で活躍できる技術者に成長できることを期待しています。



## ご卒業、おめでとうございます

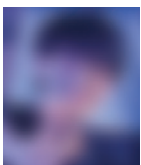
2学年クラス担任 山田 章

5年前の入学時に私から「高専生活での心構え」として「挑戦」と「継続」を挙げましたが、実行できましたか。皆さんが入学したときは新型コロナ禍で対応を求められることが多かったですが、その中で挑戦し努力を継続して卒業を迎えられたことと思います。

卒業にあたり2つ胸に留めてほしいことを提案します。一つは「物事に楽しみながら取り組むこと」。世の中の変化が年々激しくなり、新しい技術も出てきています。その中で何かを成し遂げる人は、楽しんで取り組んでいる人です。楽しむからこそ、良いアイデアが出たり継続して取り組めたりして結果がついてきます。二つ目は「他の人と協力して取り組むこと」。一人では実行が難しいことも、協力することで早く多くのことが出来ます。新しい視点を得て、互いの不得手を補い合え、良い方向に進めることができます。

この2点を胸に新たな環境に羽ばたいていってください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

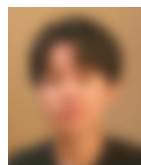




## 能動的 5 年間 木津 在音

長岡高専は立地的に学生時代の青春を謳歌しやすいとはお世辞にも言えません。駅につながるバスの本数は少なく、学生の遊び場もなかなかありません。そこで僕はクラスメイトと共に工夫を凝らし、人に迷惑をかけず校則も守った遊びやイベントを考案して5年間を楽しむことができました。空きコマで動物園に行ったり悠久山でピクニックをしたり、一見幼稚に思えるかもしれませんが、工夫した非日常というものは疲れ切った高専生にとって癒しの時間でした。一緒に遊んでくれた友達あってこそその時間ではありますが、青春とは自分から造る物であり、受け身の姿勢では出会えない物だと思います。

入学当初は高専生活を楽しめるか不安でしたが、今となっては高専に来て良かったなと心から思っています。仲良くしてくれた友人、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。そして、在校生のみんなは残る高専生活を能動的に謳歌してください！



## 支えられて歩んだ 5 年間 吉岡 水輝

高専での5年間は、順調なことばかりではありませんでした。恥ずかしながら、遅刻や欠席も少なくなくその他のことでも失敗することも多くありました。その度に井林先生は曖昧に済ませることなく、真剣に向き合い、時には厳しく叱ってくださいました。どうしようもなかった自分に言い続けてくださったことに、井林先生には心から感謝しています。

また、母親は毎日、不自由なく学校に通えるように最も近くで5年間支え続けてくれました。その存在のありがたさは、この5年間を終えた今になって強く実感しています。20年間ここまで育ててくれてありがとう。

友人たちは、時には他愛ないことで笑い合い、自分が道を誤りそうになったときは見て見ぬふりをせずだめなことはだめと教えてくださいました。今では、机を囲んで食べたお弁当、文句を言いながら徹夜で一緒にやったテスト勉強やレポート、全てが大切な思い出です。

知識や技術だけではなく、人としてどうあるべきかを学べたことこそが、高専で得た最も大きな財産です。支えてくださった皆様本当にありがとうございました。



## 一生ものの経験と財産 3～5学年クラス担任 井林 康

ご卒業おめでとうございます。時代的に不完全燃焼の日々もあった入学当初と比べ、私が担任となった3年生以降は、クラスの学生には勉学面はもちろん、学生会行事や部活動などの課外活動で、頑張りや成長著しい学生が多く、私としても驚かされる毎日でした。

学生生活から多くのことを学んだと思いますが、時間と約束を守ることや周りの人に興味を持つこと、自分の秀でている分野を見つけることなど、私からの説教も多かったと思いますし、厳しく指導された覚えのある学生もいると思います。

卒業後、将来に不安を感じることもあると思いますが、本校で一生ものの経験や財産を獲得した学生であれば、「ふつー」に勉強や仕事をやり、意識を少し前向きに持つだけで、どんどん道が開けてくると思います。将来のある日、素晴らしかった高専生活を振り返ってもらうために、大いなる活躍を期待していますし、またこれからの未来を楽しみに頑張ってください。



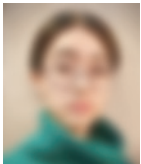
## 皆さんのこれからの期待して 2学年クラス担任 市川 智之

皆さん、ご卒業おめでとうございます。時の流れは不思議なもので、過ごしている最中は長く感じて、振り返ればあっという間だったと思えるものです。高専での5年間は、皆さんにとってどのような時間だったのでしょうか。

最初に担任した頃、コロナ禍ということもあり、クラスはどこか静かで、少し距離を感じる雰囲気がありました。しかし学年が上がるにつれて、少しずつ結束を深めていった姿が印象に残っています。勉学や課外活動、海外への挑戦など、順風満帆ではない場面も含め、多くの経験を積み重ねてきました。その歩みを近くで見られたことは、私にとっても忘れられない経験です。

これから先、社会に出れば思い通りにいかないこともあるでしょう。それでも、高専で培った基礎と、困難に向き合ってきた経験は、必ず皆さんの支えになります。それぞれの場で自分らしく活躍し、たまには元気な顔を見せて、母校に戻ってきてください。本当に卒業おめでとう。





## 終止符

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）  
佐藤 光希

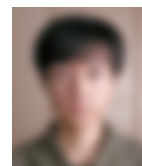
本科生のとき、私は自分が理系に向いているのか自信が持てなくなり思い悩んだことがありました。そんな折に英語のスピーチコンテストの張り紙を見てとにかく何か挑戦したいと先生に相談をしました。このとき英語の指導をしてくださった先生は一生忘れることができない最大の恩師です。何度繰り返しても正確に発音することができなかった私に「光希ならできるって言うから、頑張れ！」と、励まして、応援してくださいました。完璧主義である必要はない、自分が周りの為にできることの精一杯を尽くす、欠点があってもいいのだと今は胸を張って言うことができます。7年間の高専生活が人生の何%になるのかはまだ分かりませんが、試験に実習、研究と、時には嫌になるほど凝縮された時間でした。

他学科の友達と映画を見に行ったり、留学生と一緒に試験勉強をしたり、全てとても楽しい思い出です。そんな日常の一片があったからこそ、私は今ここに立てているのだと思います。私の普通の日常を支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、長岡高専を卒業していきたいと思います。在校生の皆さん、迷った時は深く考えずに“Just do it!”です！成功よりも失敗の方が優しいものです。



ました。この経験を通して多くの企業の方と出会い、エンジニアの卵として大切な「現場」を学ぶ機会を得ました。

専攻科でも矢野先生には常に支えていただき、最近では学会でラスベガスを訪れ、初めての英語発表と質疑応答を経験しました。矢野先生のすごいところは、締め切りや細かな指示をあえて口にしないことです。学生の自主性を信じ、必要ときには本質を突く問いで導いてくださいます。そのおかげで、研究室の仲間と切磋琢磨しながら成長することができました。本当に良い研究室、そして素晴らしい教授に恵まれ、幸せな高専生活でした！



## 7年間の交流

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）  
関 玖祥

今から約7年前、不安でいっぱいな状態で入学式を迎えたことを覚えています。知っている顔は地元の友人二人のみ。他地域の学生たちと馴染めるかという心配は、今となっては杞憂であったと感じています。1年次の混合学級から学科別学級、部活動、そして研究室。様々なコミュニティを通し、多くの仲間に支えられながら7年間の学校生活を充実させることができました。

学業においては、解答に行き詰まることも多かった専門科目の学習が強く印象に残っています。友人たちとホワイトボードに向かい、試行錯誤した休み時間は私にとって大切な思い出です。研究活動では、本科から専攻科にかけて学会発表という貴重な機会をいただきました。先生方や研究室のメンバーには感謝してもしきれません。また、部活

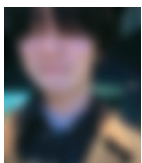
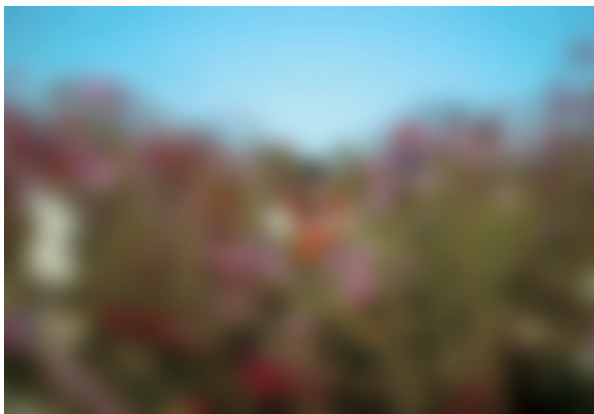
## 私と矢野先生

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）  
清水 日菜子

私は矢野先生のプレラボをきっかけに、本科2年生の頃から音響工学研究室（矢野研）にお世話になってきました。当時コンテストや発表の機会に数多く挑戦し、先生のご指導のもと、結果を出す経験を重ねてきました。その中で身についたプレゼン力は、私の高専生活の中で唯一胸を張れるものとなりました。4年生で正式に矢野研に配属され、5年生の春にはプレラボの集大成としてDCONファイナリストとなり、企業賞を2件受賞し

動や趣味では写真活動をたくさん行いました。級友と出かけたり、何気ない日常や学校行事を切り取ったりした写真フォルダは、今や私の宝庫です。社会に出てからも、友人たちと再会した折には、これらの写真を見返しながら思い出話に花を咲かせたいと願っています。

教育理念に基づき、7年間で得た経験と知識を社会貢献に繋げ、未来を担う技術者の一人として真摯に歩いていく決意です。



### 手放したもの

物質工学専攻（物質工学科出身）

齊藤 啓

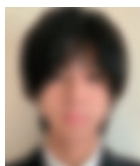
イヤホンを付けず、外へ出る。音が満ちているはずの街で、かえって静けさに触れる。街のざわめきや鳥の声、名付けられない環境音が思考の縁をなぞりながら頭の奥へ沈んでいく。気づけば、内側にわずかな余白が生まれている。余白は答えではなく、間のようなものだ。言葉にならなかった会話の途中、交わされなかった視線、説明されなかった感情。その曖昧さは消えることなく、時間の中に静かに沈殿していく。忘れたはずの感覚が、何気ない瞬間に形を変えて浮かび上がることがある。

人生を思えば、通り過ぎていく景色の方が圧倒的に多い。出会わない人、選ばれなかった道、触れられなかった時間。それらは失われたものというより、存在しなかった可能性として、今もどこかに残っている。それでも、非日常は遠



くに隔てられているわけではない。日常の気配に紛れながら、気づかれないまま佇んでいる。その存在に目を凝らすためには、心に幾分ゆとりを残しておく必要があるのだと思う。

ささいな瞬間に滲む違和感や静けさを拾い集めながら、確かなものを急いで掴もうとしない。手放した先に生まれた余白の中で、やがてくる未来に、微量の希望を静かに待ちわびていたい。



### 7年間の出会いと学び

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

小林 瑚伯

この7年間の高専生活で得た最大の財産は、かけがえのない友人や先生方との出会いです。

自分に足りないもの、そしてこれからの人生に必要なもの。それに気づかされてばかりの日々でした。

本科時代の自分は、「定期試験で良い点さえ取れば人生は安泰だ」と思い込み、ひたすらに順位という数字だけを追い求めていました。しかし、この価値観はコンテストや研究活動で出会った仲間や、先生方と活動する中で変わっていきました。

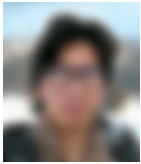
自らの興味に圧倒的な熱量を注ぎ、確かな技術と思考力を有する人々。試験勉強だけに固執してきた自分には、彼ら彼女らに勝る武器など何一つありませんでした。「自分は一体、今まで何をしてきたのだろう」と、初めて自分の無力さを知り、愕然としたのを覚えています。

ですが、その衝撃は同時に、強い憧れへと変わりました。「自分も、心から熱中できる分野を見つけ、挑戦していきたい」。その決意が、自分を突き動かす原動力となりました。

また、研究活動も大きなターニングポイントです。先生方や先輩、後輩と議論を重ね、試行錯誤しながら自分なりの答えを導き出す。そのプロセスの楽しさを知ることができたのは、大きな収穫でした。

ここで得た経験と出会いは、私にとって一生の宝物です。次のステージでも、熱意を胸に、恐れず進んでいきます。7年間、本当にありがとうございました。





## 田んぼのバス停から

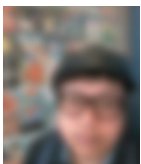


電気電子システム工学科 / 国籍：モンゴル  
ツォグトバートル ガンバヤル (ガンバー)

初めて長岡に来た日、バスを降りた先にあったのは、田んぼの真ん中にぼつんと立つバス停でした。「本当にここで合っているのだろうか」と思わず立ち止まり、不安よりも先に少し笑ってしまったのを今でも覚えています。留学生として日本での生活が始まる期待と同時に、見知らぬ土地で暮らしていけるのかという不安もありました。しかし、長岡高専の周りに広がる自然や、人の温かさに触れるうちに、その気持ちは少しずつ安心へと変わっていきました。

夏には友人たちとキャンプに出かけ、青空の下で過ごした時間は忘れられません。冬には一面の雪景色の中でスキーを楽しみ、厳しい寒ささえも特別な思い出になりました。授業や実験、研究で悩んだ日々も、仲間と支え合うことで乗り越えることができました。田んぼの中のバス停から始まった私の3年間は、気づけば「ここが第二の故郷だ」と思えるほど、かけがえのない時間になっていました。

これから先、進む道は変わっても、長岡高専で学んだことや出会った人々、自然の中で過ごした日々は、私の心の中でずっと支え続けてくれると思います。この場所で過ごした経験を胸に、新しい一歩を踏み出していきたいです。



## One of the best things to happen in my life ☆彡



電気電子システム工学科 / 国籍：タイ  
シラックサー クリッティン (ヌーア)

長岡高専に入学した初日のことを振り返ると、これほど多くの素晴らしい経験ができるとは想像もしていませんでした。もちろん、一番の目的は大好きな工学の知識を学ぶことでしたが、期待を大きく超えていたのは、教室の外での学びでした。異文化交流や、みんなでおいしいものを食べたり、様々な国の友達と一緒に旅行したりしたことは、

私にとって一生忘れられない思い出になりました。

たった3年間でしたが、自分でも驚くほど大きく成長できたと感じています。先生方や友達がいっぱいサポートしてくれたおかげで、高専は私にとって、安心して新しいことに挑戦できる場所でした。ここで過ごした時間は、将来の目標を明確にしてくれただけでなく、一生大切にしたい友情も与えてくれました。

日々の会話や忘れられない旅行は、私に新しい視点を与えてくれました。いつも私を自分らしくいさせてくれた先生方や友達のおかげで、毎日が本当に楽しかったです。長岡高専での留学を選んだことに、後悔は全くありません。3年間、本当にありがとう!!



## CARTOON'S 物語



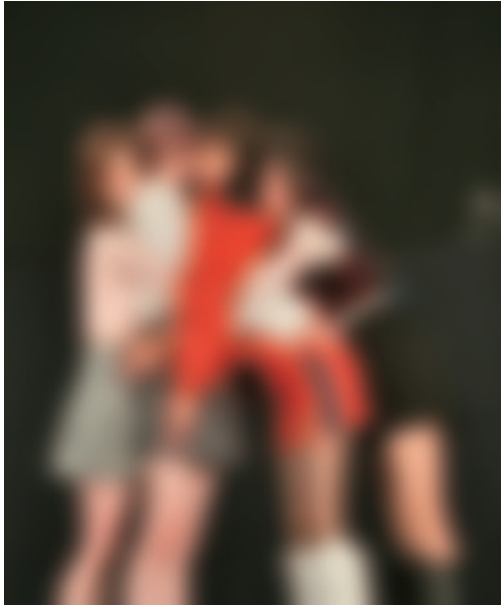
環境都市工学科 / 国籍：タイ  
ラッタナスワン ポンパイリン (カートゥーン)

私はタイの中学校を卒業後、長岡高専に入学しました。入学当初は、勉強面でも生活面でも分からないことばかりで、不安を感じる日々が続いていました(;\_;) それでも、先生方や周囲の方々に支えていただき、少しずつ学校生活に慣れていくことができました。

私自身、日本語で話すことに対して自信が持てず、悩むこともありましたが、いつもサポートしてくださった先生方、優しく接してくれた素敵なお友達、そしてダンス部の仲間たちと過ごした時間は、私にとって大きな支えでした。楽しい思い出だけでなく、前向きに頑張ろうと思えるきっかけをたくさんいただきました!

この5年間を振り返ると、私は毎年少しずつ成長し、以前よりも自分自身と向き合えるようになったと感じています。これからは、目の前のことに真剣に取り組み、努力を重ねながら、自分らしい生き方を大切にしていきたいです♡

最後に、私は今後専攻科に進学するので、温かく見守っていただけると嬉しいです。あと2年間よろしくお祈りします!!



### 雪の写真から始まった 私の留学生活

環境都市工学科/国籍：タイ

ワラワット シリウイワット (ワット)

私はタイの中学校を卒業後、日本へ留学することになりました。合格を知った瞬間、自分が日本に留学することになるとは想像もしておらず、信じられない気持ちで何度も掲示板を見返していました。

その後、日本のどの高専に留学するかを選ぶことになりました。12校の中から選ぶ必要がありましたが、当時の私は日本の地理をほとんど知らなかったため、学校名を一つずつ検索しました。そこで出会ったのが、雪に覆われた長岡高専の写真でした。雪を見たことがなかった私は、その景色に強く心を惹かれ、長岡高専を志望しました。

来日した当初は、周囲から聞こえてくる言葉がすべて日本語になり、大きな不安を感じました。高専に到着したとき、日本人の友達が温かく迎えてくれましたが、最初は何を言っているのかほとんど分かりませんでした。それでも、



簡単な日本語と発音の拙い英語を使いながら、少しずつコミュニケーションを取ることができました。

ここまで日本の生活に慣れ、日本で育ったかのように生活できているのは、自分自身の努力だけでなく、信じられないほど優しい友達、そしていつも支えてくださっている先生方のおかげです。心から感謝しています。

残された留学生活はあと2年間です。この貴重な時間を大切に、たくさんの思い出を作り、悔いのない留学生活にしていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



### かけがえない思い出

物質工学科/国籍：マレーシア

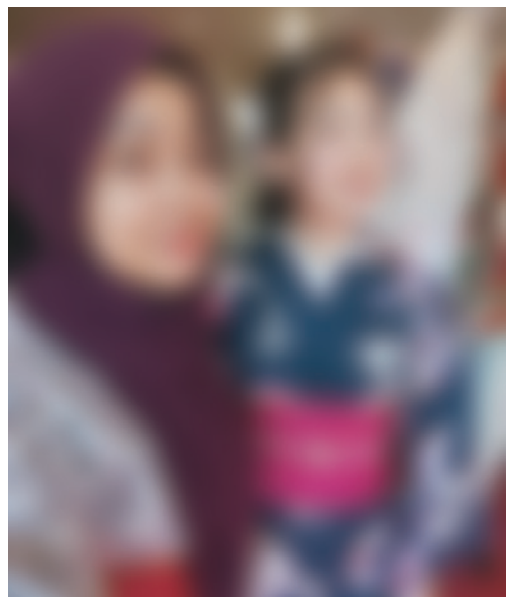
アイシャ ビンティ ユスフ (アイシャ)

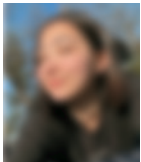


長岡高専で過ごした日々は、私にとって忘れられない時間です。一番驚いたのは雪でした。初めて見た雪景色はとても綺麗で、雪だるまや雪合戦、アイススケートなど、たくさんの「初めて」を経験しました。ただ、買い物などで出かけたい時は少し大変だと感じることもありましたが、

学校生活では、授業や課題、レポート、研究などが大変でしたが、チューター、先生、先輩や友達がいつも優しく助けてくれました。クラブ活動でのBBQや花見、ビンゴ大会で勝ったことなど、楽しい思い出がたくさんあります。友達と遊びに行くことや研修旅行で初めて着物を着たことも心に残っています。高専祭など、日本での生活を通して、多くのことを学びました。寮での生活も楽しかったです！

3年間は長い時間だと思いましたが、振り返るとあっという間でした。長岡高専で学んだことを忘れず、これからも前に進んでいきます。支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました！





## ここで見つけた自分

物質工学科/国籍：モンゴル

ザガドスレン デルゲルジャルガル (デーギー)



速く走ることはできなくても、歩みを止めなければ前に進める。

私はこれまで、自分のことを遅くて努力が足りない人間だと思っていました。しかし、この3年間で、自分は決して諦めない人間なのだと気づきました。速く進むことはできなくても、立ち止まらずに歩き続けていたのだと思います。

また、この3年間は、初めて自分自身を大切にする時間でもありました。新しい環境の中で、自分の気持ちに耳を傾け、自分の成長のために挑戦する勇気を持つようになりました。孤独や不安を感じることもありましたが、それらも自分を形づくる大切な経験だったと感じています。

この3年間で支えてくださった先生方、難しい時や嬉しい時に一緒にいてくれた友達、悩む時に話を聞き励ましてくれた研究室の皆さんに心から感謝いたします。皆さんのおかげで、諦めそうな時を乗り越え、充実した3年間を過ごすことができました。今後も勇気を出し、自分自身の成長のために挑戦しながら歩きます。



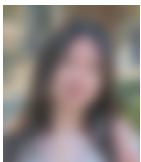
人生の3分の1をここで過ごしてきましたが、これまでで最も楽しく、意義深い時間でした。日本に来ることを決めた時、私の人生は大きく変わりました。不安定な状態から安定した状態へ、異国から長岡高専で自分の家のように感じられる場所へ。このキャンパスで7年間生活できたことは、本当に幸せでした。私は成長し、学び、そしてこれからも大切にしていきたい人間関係を築くことができました。

この7年間で、本当に思い出深いものにしてくれた先生方と友人の皆さんに感謝します。特に、5年間担任と研究指導の先生には、いつもアドバイスをくださり、深く感謝申し上げます。先生がいなければ、もっと大変な時期を過ごしていました。親友、タイ人の先輩後輩にも感謝し、ここで築き上げてきたコミュニティに深く感謝しています。ここで学んだことはすべて、必ず活かしていきます。これまでずっとお世話になり、ありがとうございました。

またいつかお会いしましょう。



第31回高専シンポジウム in Amagasaki



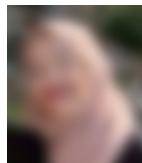
## 人生で最も美しい思い出の一つ

電子機械システム工学専攻/国籍：タイ

タンヤチャルーン ティタヤー (クリーム)



寮の前の3本の大きな桜の木を初めて見たのは、2019年3月31日、まだ雪が降っていたにもかかわらず、濃い赤色の花のつぼみが成長し始めていたときでした。それ以来毎年、ふわふわのピンクの綿菓子のような桜から大きな白い雪雲のような桜へと、美しく移り変わる様子を見守ってきました。昨年の4月、ピンクの花びらに覆われた寮への道を歩くのはこれが最後になるとは、夢にも思いませんでした。



## また会う日まで

電子機械システム工学専攻/国籍：マレーシア

ヌル ヒダヤ ピンティ ノール アジザン (ヌル)



携帯電話が壊れたことをきっかけに、マレーシアで使っていた携帯電話を久しぶりに起動した。画面に映る3年生の頃の私は、日本語もまだ十分に話せなかった。そのときは3人のチューターに支えられていたが、その存在は日本での生活を続ける大きな力だった。

実は、私が専攻科に進学できたことは奇跡のように感じている。元々は大学進学を考えていたが、3年生の頃にチューターから聞いた言葉をきっかけに、専攻科へ挑戦することを決めた。受験直前まで矢野先生に電気回路の質問を聞き、不安も多かったが、クリームさんと共に合格した

ことを新潟へ向かうバスの中で知った時の喜びは今でも忘れられない。

専攻科に進学したことを後悔したことは一度もない。専攻科での生活は決して楽ではなかったが、先生方の支えのおかげで学会発表の機会も得られた。長岡高専で学び、成長できたこの場所に心から感謝している。今年で来日して5年目となり、卒業後はいったん帰国するが、これは「さよなら」ではない。お世話になった皆さんに、機会があれば、また会おうね。



### Rasa Sayang

電子機械システム工学専攻／国籍：マレーシア  
リム トン エン (リム)



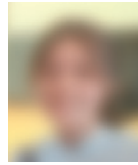
本来は長岡高専で3回の冬を過ごす予定でしたが、思いがけず5回の冬を経験することになりました。専攻科入学式の光景は今でも鮮明に思い出されますが、気がつけば、研究室での生活や授業、クラブ活動、レポートや課題に追われる日々とも、いよいよ別れの時を迎えました。

これまで、先輩方や5年生の同級生、他の留学生が次々と卒業し、長岡を離れていく姿を見て、「私も早くここを離れたい」と羨ましく思っていました。また、先生方や職員の方々が異動や退職で離れていくのを見送り、この場所



で多くの別れを経験してきました。

そうした日々の中で、寮の前に咲く桜、田んぼの間を自転車で走った外出、夏の長岡花火、銀杏並木、そして大雪と消雪パイプの風景など、長岡で過ごした一つ一つの瞬間が、私の中に深く刻まれていきました。卒業を迎える今、これまで支えてくださった先生方、職員の皆様、そして共に学んだ仲間たちに心より感謝申し上げます。高専で得た経験を胸に、これからの新たな一歩を踏み出していきたいと思います。



### 旅路の良い出会い

物質工学専攻／国籍：タイ

ナパット チャルーンナパーラット (ポー)



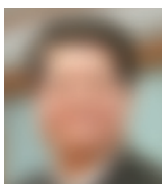
長岡高専での7年間は私にとってかけがえのない時間でした。ここでは、新しく楽しい経験ばかりです。熱心な先生たちのおかげで、楽しく、意味のある授業や実験を通して色んな知識とスキルを学びました。それらを使って、将来の活動に効果的に生かしたいと思います。

勉強のほかにも、多文化や地域社会に触れ、新しい体験を通して、多様な価値観やその美しさを感じました。これらの経験ができたのは、いつもサポートして色々教えてくれた先生や教職員の方々、学生課の方々、そしていつも助けあって、支え合ってきた友達と同じ留学生の皆さんと、優しい長岡市民たちのおかげでした。

私一人では、今のように安心して心強く生活することは決してできなかったと思います。皆さんと出会い、物理的な助けだけでなく、日常の会話から励ましの言葉などをいただいたのは私にとってとても大切に、ありがたかったことです。

長岡市と長岡高専は、私の成長に大きな影響を与えてくれた大切な場所です。ここで7年間を過ごすことができ、本当に良かったと思います。ありがとうございました。





### ありがとうございました

校長

小林 幸夫

令和4年4月に着任以来、あっという間に4年が過ぎました。優秀な学生と教職員に支えられ定年まで勤めあげることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

長岡技術科学大学大学院を修了して、40年ぶりに長岡に戻ってきた年が高専制度創設60周年の節目の年でした。社会からの高専の期待も大きく、令和4年度の補正予算で整備したイノベーションラボ（起業家工房）により高専の高度化に貢献することができました。ありがとうございました。

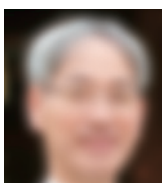
学生の活躍は目覚ましく、令和5年度のロボコン大賞受賞、全国高専体育大会での優勝、毎年学会等で優秀賞を受

賞する専攻科生など多くの学生が長岡高専の名を高めてくれました。これもまたこの場をお借りして学生に感謝します。ありがとうございました。

また、国際交流も盛んに行われ、タイ、モンゴルなどから留学生を積極的に受け入れ、令和7年度には28名の留学生が在籍しています。これは全国高専で一番多い数です。関係する教職員の皆様のおかげでその他の国とも国際交流や学術交流を積極的に行うことができました。ありがとうございました。

さらに、特色ある教育として、JSCOOPやキャリア教育、プレラボ、AIR Tech リテラシー教育に力を入れてきました。ありがとうございました。今後とも、これらの高専教育を実践し、長岡高専が未来に向かって更なる飛躍することを期待しています。

4年間、ありがとうございました。



### 感謝の日々

機械工学科

青柳 成俊

某会議で教員公募が話題になったとき、「誰の後任ですか」と呆れた質問をしてしまった。退職まで数年のカウントダウンの私の後任でした。大袈裟ですが、教育研究に携わる者として授業や学内運営に没頭できていた日々だったと思います。教育研究と学内運営、社会活動等のすべてで周りの方々に助けていただきました。あらためて感謝申し上げます。知的好奇心を満たす国際的な学びの経験、学内

外の役職等の経験は俯瞰的な視点を広げ、時には新しい考え方ももたせてくれました。63年走のゴールテープを切りますが、高志台で過ごした記憶はこれからも人生の宝物になると思います。校歌の最後には“生みなさむ未来の世代わが胸底はそこにあり”と記されています。春に高志台を飛び立つ学生諸氏はこれから、現教職員方々は今後も、この言葉の通りに邁進されることと存じます。

教職員の皆様、機械工学科の先生方、研究室の卒業生修了生の各位に厚く御礼申し上げます。

感謝の日々の35年でした。本学の益々の発展を祈念いたします。



### 定年にあたって

電子制御工学科

永井 睦

36年前の平成2年に機械工学科に着任、その年に新設された電子制御工学科へ3年後に転属し、随分年月が経ちました。電子制御工学科は、機械工学科2学科のうち1学科を改組して誕生したもので、発足当初から両学科合同でカリキュラムを進行してきました。機械と電気電子の融合分野で活躍する技術者養成を目指すカリキュラム作りに苦心しつつ

も、新しい学科を築く活気に満ちた時代でした。

その後はメカトロ、電気電子工学、情報工学の3本柱の時代を経て、現在ではAIを軸に多様な産業で活躍できる技術者育成へと移行しています。思えば遠くに来たものだと感慨深いものがあります。中越地震や東日本大震災、コロナ禍を経験しつつ、独法化やJABEE導入、カリキュラム改正など、幾度も大きな変動の波にのまれながらも、なんとか勤め上げることができ、今は安堵しています。

これまで支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。しばらくは嘱託教員として引き続き勤務しますので、今後ともよろしくお願いいたします。

# 1年を振り返って

## 新科目「キャリアデザインII」を開設

教務主事 外山 茂浩

本校では、体系的なキャリア教育のさらなる充実を目的として、今年度より第2学年を対象とした新科目「キャリアデザインII」を開設しました。本科目は、第1学年で開講されている「キャリアデザインI」で培った自己理解や基礎的な協働スキルを基盤とし、高専卒業後から社会人へとつながるキャリアパスを、より具体的に描き、主体的に行動する力を育成することを目的としています。

授業では、自身のライフプランを見据えながら、進学・就職活動に必要なビジネスリテラシーやメンタルコントロール法を学ぶとともに、グループワークや学年を越えた対話を通して、協働するためのコミュニケーションスキルを高めました。後期には「長岡高専への提案」をテーマとしたPBL（課題解決型学習）に取り組み、デザイン思考

を用いた課題発見から提案までのプロセスを実践的に学びました。

学生たちは、議論や発表、振り返りを重ねる中で、自らの強みや課題を客観的に捉え、高専での学びを将来へとつなげる意識を深めています。本科目は、工場見学やインターンシップ、高学年での専門的な学修・卒業研究へと発展していくキャリア教育体系の中核を担う科目として位置付けられています。



協働スキル向上を目指すチームビルディングの様子

## 本校学生の活躍について

学生主事 竹内 麻希子

学生会行事では、4月新入生歓迎会、5月交千祭、11月未工祭、12月クラスマッチなど多彩なイベントが実施されました。交千祭では、体育祭の競技に加えて室内ゲームやeスポーツといった高専らしい企画も行われ、多くの学生が熱中していました。未工祭では恒例の学科対抗演劇をはじめとする多くの企画が実施され、最終日には花火が

打ち上げられました。周辺で熊の出没が話題となっていた中、無事に花火を上げられたことは学生たちにとって大きな感動となりました。これらの行事はいずれも学生会役員をはじめとする全学生の協力によって成功を収めたものです。

課外活動においても、今年は8つの運動部が全国高専体育大会に出場し、文化部も文化発表会などを通じて活発に活動しました。また、部活動に限らず、各種コンテストやイベントでも多くの学生がさまざまな分野で活躍しており、その様子は学校のホームページなどでも紹介されています。

学生たちの際立った活躍に加え、他者を思いやる姿勢といった豊かな人間性は、長岡高専の大きな誇りです。今冬は寒波により構内が大雪に見舞われましたが、自主的に雪かきを行う「名もなき除雪隊」の学生の姿は、本校の精神を体現するものでした。誰に求められるでもなく周囲のために行動する姿勢に深い感動を覚え、感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからも、思いやりと行動力を兼ね備えた学生たちが、社会に貢献する魅力ある技術者へと成長してくれることを期待しています。



未工祭の閉会式の様子

## 主体性と協調性が育む成長

寮務主事 小出 学

学生寮を取り巻く環境は年々変化しており、寮生数は増加を続けています。現在は総勢340名となり、全校学生のおよそ3分の1が寮で共同生活を送っています。また、留学生は9か国28名が在籍し、全国の高専の中でも最多規模となりました。このように多様な文化や価値観をもつ学生が共に生活する本寮は、単なる居住の場にとどまらず、人間的成長を促す大切な教育の場となっています。

学生寮は自治の精神を基盤とする共同生活の場であり、一人ひとりが自律し、主体的に行動することが求められます。この一年、点呼や清掃、日々の生活習慣の徹底に真摯に取り組む姿が見られ、規律ある生活を築こうとする意識が着実に高まりました。さらに、夏と冬の寮祭、新入生歓迎行事、防災訓練などの諸活動も寮生主体で企画・運営さ

れ、互いに意見を出し合いながら協力して準備を進める姿が印象的でした。

日常生活においても、課題が生じた際には話し合いを重ね、よりよい寮生活を目指して改善しようとする姿勢が定着しています。テスト期間中に開放される食堂は学習の場としても有効に活用され、学年を越えて教え合い、励まし合う姿が多く見られました。こうした日々の積み重ねは、思いやりや責任感、そして他者と協働する力を確実に育んでいます。本寮で培った自立心と協調性を、今後の進学先や社会において存分に発揮してくれることを心より願っています。



学生寮グループ学習支援

# 卒業生・修了生表彰 進路状況

## 卒業生・修了生表彰

### ■長岡高専の学則に定める賞

#### 特別表彰

電子機械システム工学専攻	小池 柗生
電子機械システム工学専攻	佐藤 楓太
物質工学専攻	長谷川 和輝

#### 功労賞

機械工学科	阿部 巧望
電気電子システム工学科	丸山 颯太
電子制御工学科	横田 琉起

電子制御工学科	古川 聖也
物質工学科	小林 真琳
物質工学科	深森 博英
環境都市工学科	嶋津 明良
環境都市工学科	熊澤 綾子
環境都市工学科	小出 零雪

#### 精励賞

機械工学科	鈴木 悠真
電気電子システム工学科	谷口 悠

電気電子システム工学科	ツオグバートルガンパル
環境都市工学科	小林 勇貴

#### 皆勤賞

電気電子システム工学科	富井 大夢
電子制御工学科	中野 愉羅
物質工学科	アイシャピンティ ユスフ
物質工学科	ザガドスレンデルゲルジャルガル
物質工学科	中山 美咲

### ■各種学会賞等

令和7年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 学生表彰 理事長特別表彰	物質工学専攻	長谷川 和輝
令和7年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 学生表彰	電子機械システム工学専攻	小池 柗生
一般社団法人電気学会 基礎・材料・共通部門（A部門） 優秀論文発表賞	電子機械システム工学専攻	小池 柗生
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	佐藤 楓太
	電子機械システム工学専攻	清水 日菜子
日本高専学会研究奨励賞 優秀賞	物質工学専攻	長谷川 和輝
第14回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター発表賞	物質工学専攻	長谷川 和輝
	物質工学科	中山 美咲
	物質工学科	萩原 結衣
第15回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀発表賞	物質工学専攻	長谷川 和輝
第15回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター賞	物質工学科	下村 倫世
電子情報通信学会2026年総合大会 ジュニア&学生ポスターセッション 優秀ポスター賞	電子制御工学科	大瀧 はるか
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	鈴木 俊大
第7回「発酵を科学する」アイデア・ライブラリー 審査員賞(ごはん同盟賞)	物質工学科	下村 倫世
	物質工学科	中山 美咲

### ■同窓会長賞

#### 水泳部

環境都市工学科	小出 零雪
環境都市工学科	熊澤 綾子
環境都市工学科	松平 一吹
電子制御工学科	星野 咲空

#### 卓球部

機械工学科	西山 陽樹
電子制御工学科	中野 愉羅
電子制御工学科	吉川 修一
機械工学科	石橋 望

#### バスケットボール部

電子制御工学科	杉谷 祐陽
---------	-------

#### プレラボ「はしおし」

環境都市工学科	田中 優衣
環境都市工学科	佐藤 湊太
環境都市工学科	姫路 拓海

#### 柔道部

物質工学科	矢代 魁生
電気電子システム工学科	岩本 凌汰

#### 陸上競技部

物質工学科	深森 博英
-------	-------

環境都市工学科	嶋津 明良
機械工学科	浅野 すす
環境都市工学科	小林 勇貴

#### プレラボ「和算倶楽部」

電気電子システム工学科	谷口 悠
環境都市工学科	田邊 真奈

#### ロボティクス部

機械工学科	阿部 巧望
電気電子システム工学科	丸山 颯太

## 進路状況

### 学科

学科	区分	卒業者数	進学者数	就職者数		研究生等	
				県内	県外		
機械工学科		31	20	10	2	8	1
電気電子システム工学科		35	22	11	2	9	2
電子制御工学科		32	26	6	5	1	0
物質工学科		39	33	6	1	5	0
環境都市工学科		43	18	24	4	20	1
計		180	119	57	14	43	4

### 専攻科

専攻	区分	修了者数	進学者数	就職者数		研究生等	
				県内	県外		
電子機械システム工学専攻		17	3	13	8	5	1
物質工学専攻		5	3	2	0	2	0
環境都市工学専攻		7	2	5	1	4	0
計		29	8	20	9	11	1

## 高志台さくら基金のお知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

- 学生への支援内容 教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など
- 令和7年度受入実績 **101件 9,144,618円** (R8.3.1現在)
- 税法上の優遇措置 個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/sakura-fund/>  
 【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課  
 T E L : 0258-34-9320  
 E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード